



宮崎県の循環器病対策の推進について

宮崎県循環器病対策推進協議会

日時: 2024年7月4日(木) 18:30~20:00

場所: 宮崎県防災庁舎5階 防53号室

- 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
- 循環器病人材育成事業
- 啓発・予防の取組

- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
- ・循環器病人材育成事業
- ・啓発・予防の取組

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

令和6年度当初予算案 2.2億円 (2.8億円) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。
- この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

【事業創設年度：令和4年度、補助率：定額（10/10相当）】

2 事業の概要・スキーム

<事業の概要>

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

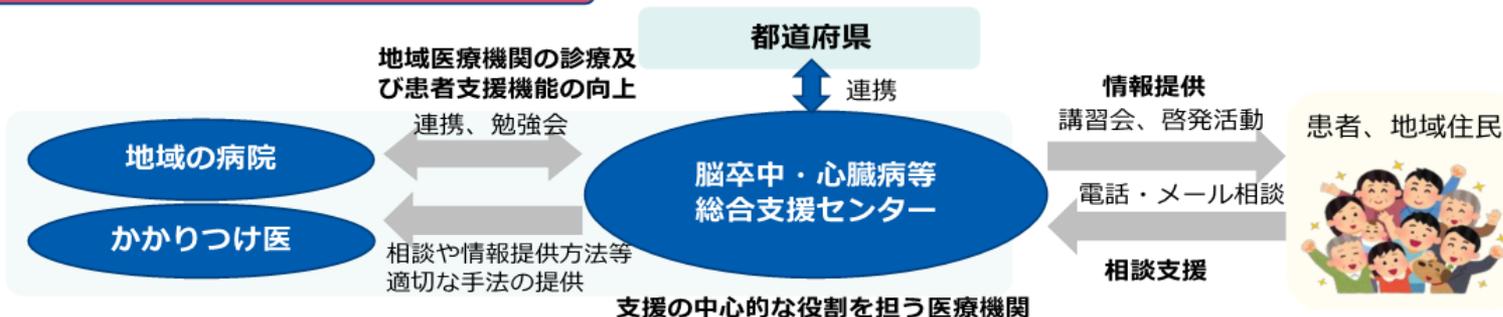
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効果的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効果的に行うために必要と考えられるもの

<期待される効果>

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップに必要な情報を得られるとともに、より効果的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関

①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

◆箇所数：12箇所

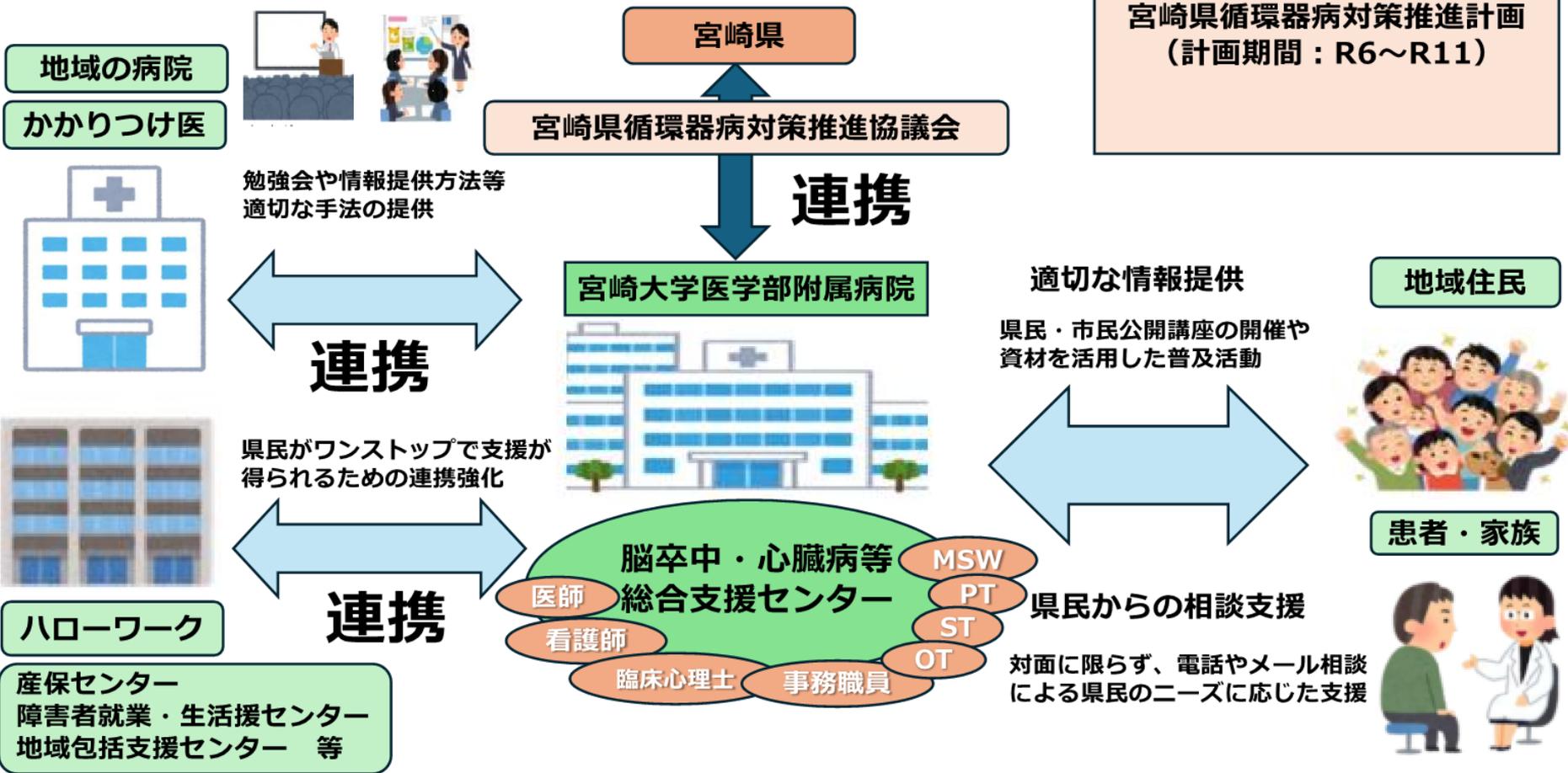
◆1箇所あたり：1,800万円程度

◆事業実績：令和5年度応募数27医療機関、採択数16医療機関（15府県） 令和4年度応募数32医療機関、採択数12医療機関（10府県） 合計25府県で事業開始

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

宮崎県における脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

宮崎県循環器病対策推進計画
(計画期間：R6～R11)



脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

令和6年度採択医療機関一覧

No	都道府県	事業者名
1	北海道	国立大学法人 北海道大学病院
2	山形県	国立大学法人 山形大学医学部附属病院
3	群馬県	国立大学法人 群馬大学医学部附属病院
4	東京都	学校法人 日本医科大学付属病院
		公益財団法人 榊原記念財団附属榊原記念病院
		日本赤十字社 武蔵野赤十字病院
5	山梨県	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
6	岐阜県	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学医学部附属病院
7	滋賀県	国立大学法人 滋賀医科大学医学部附属病院
8	和歌山県	公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院
9	岡山県	国立大学法人 岡山大学病院
10	山口県	国立大学法人 山口大学医学部附属病院
11	宮崎県	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院
12	鹿児島県	国立大学法人 鹿児島大学病院

応募期間(令和6年1月25日～2月22日)に、22医療機関(18都道府県)から応募があり、3都県(東京都、静岡県、沖縄県)は、複数医療機関での応募であった。



書面審査の結果、12都道府県が**採択**となる。

- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
- ・循環器病人材育成事業
- ・啓発・予防の取組

循環器病人材育成事業

令和5年度宮崎県循環器病対策推進協議会にて
—優先的に取り組むべき事項—

●急性期から回復期・維持期までの切れ目
ない医療提供体制の充実を図る

⇒ **人材の育成** (例: 心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士)

(令和6年度からの計画における取組を検討)

1. 制度設立背景

超高齢社会を迎えて心不全患者が急増

心不全患者を包括的に支援する
チーム医療の実施が不可欠

日本循環器学会が主体となり
「心不全療養指導士」資格を2021年に創設

循環器病人材育成事業

—心不全療養指導士（日本循環器学会による認定制度）—

2. 求められる役割

- ①心不全の発症・進展の予防の重要性を理解し、その予防や啓発のための活動に参加することができる
- ②心不全の概念や病態、検査、治療について理解し、それをもとに病状などを把握することができる
- ③心不全の進展ステージに応じた予防・治療を理解し、基本的かつ包括的な療養指導を実施することができる
- ④医療機関あるいは地域での心不全に対する診療において、医師や他の医療専門職と円滑に連携し、チーム医療の推進に貢献することができる
- ⑤心不全患者に対する意思決定支援と緩和ケアに関する基本的知識を有している

循環器病人材育成事業

一心不全療養指導士(日本循環器学会による認定制度)

3. 認定試験実績(令和6年5月現在)

	2020年	2021年	2022年	2023年
試験日	12月20日(日)	12月19日(日)	12月18日(日)	12月17日(日)
受験者数	1,979人	1,914人	2,039人	1,864人
合格者数	1,771人	1,649人	1,871人	1,312人
合格率	89.49%	86.15%	91.76%	70.39%

循環器病人材育成事業

一心不全療養指導士(日本循環器学会による認定制度)

4. 宮崎県における認定試験実績(令和6年5月現在)

	2021年	2022年	2023年
受験者数	21人	20人	13人
合格者数	19人	15人	13人
合格率	90.5%	75.0%	100%

循環器病人材育成事業

一心不全療養指導士(日本循環器学会による認定制度)

5. 宮崎県の取得状況(令和6年5月現在)

	心不全 療養指導士数	人口10万人 当たり
宮崎県	42	4.04
福岡県	416	8.15
熊本県	144	8.43
佐賀県	32	4.03
長崎県	88	6.95
大分県	90	8.21
鹿児島県	58	3.75
沖縄県	57	3.88

○人口10万人当たりの取得状況をみると、九州管内では、熊本県が一番多く、宮崎県は長崎県に次いで5番目である。

循環器病人材育成事業

一心不全療養指導士(日本循環器学会による認定制度)

6. 宮崎県の職種別取得状況(令和6年5月現在)

	看護師	薬剤師	管理栄養士	理学療法士	作業療法士	合計
人数	18	6	4	13	1	42
割合	42.9	14.3	9.5	31.0	2.3	100

○宮崎県では、看護師の取得が一番多い。

○九州管内においても、看護師の取得が一番多い傾向にあり、次いで、理学療法士、薬剤師となっている。

○九州管内でみると、上記職種以外にも、臨床工学技士、臨床検査技師、社会福祉士、公認心理士による資格取得があった。

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

1. 制度設立背景

心臓手術の進歩等により早期離床・早期退院
が可能となり包括的リハビリが必要

医療専門職間の連携やチーム医療が不可欠

日本心臓リハビリテーション学会が主体となり
「心臓リハビリテーション指導士」資格を2000年に創設

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

2. 今後の展望

①包括的心臓リハビリを通じて循環器疾患の治療ならびに再発予防とQOL向上に貢献

②心臓リハビリの技術や考え方は、あらゆる動脈硬化性疾患の発症予防(一次予防)から治療ならびに再発予防(二次予防)に至るまで幅広くカバー

③脳血管疾患患者に対しても動脈硬化の進展予防という視点から患者教育ができるのは心臓リハビリ指導士のみ

④運動に伴う循環動態の変化を理解でき、安全かつ効果的に患者に継続性のある運動や生活指導ができる

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

3. 認定試験実績(令和6年5月現在)

	2019年	2021年	2022年	2023年
試験日	7月15日(日) (大阪)	8月15日(日) (大阪)	8月7日(日) (東京)	7月17日(月) (神奈川)
受験者数	948	1,167	666	653
合格者数	697	881	524	463
合格率	73.5%	75.5%	78.7%	70.9%

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

4. 宮崎県における認定試験実績(令和6年5月現在)

	2019年	2021年	2022年	2023年
受験者数	6	9	9	7
合格者数	4	8	7	4
合格率	66.7%	88.9%	77.8%	57.1%

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

5. 宮崎県の取得状況(令和6年5月現在)

	心臓リハビリ テーション指導士	人口10万人 当たり
宮崎県	48	4.61
福岡県	444	8.69
熊本県	172	10.07
佐賀県	43	5.41
長崎県	111	8.77
大分県	100	9.12
鹿児島県	94	6.07
沖縄県	94	6.40

○人口10万人当たりの取得状況をみると、九州管内では、熊本県が一番多く、宮崎県が一番少ない。

循環器病人材育成事業 —心臓リハビリテーション指導士 (日本心臓リハビリテーション学会による認定制度)—

6. 宮崎県の職種別取得状況(令和6年5月現在)

	医師	看護師	理学療法士	作業療法士	合計
人数	14	2	31	1	48
割合	29.2	4.2	64.6	2.0	100

○宮崎県では、理学療法士の取得が一番多い。

○九州管内においても、理学療法士の取得が一番多い傾向にあり、次いで、医師となっている。

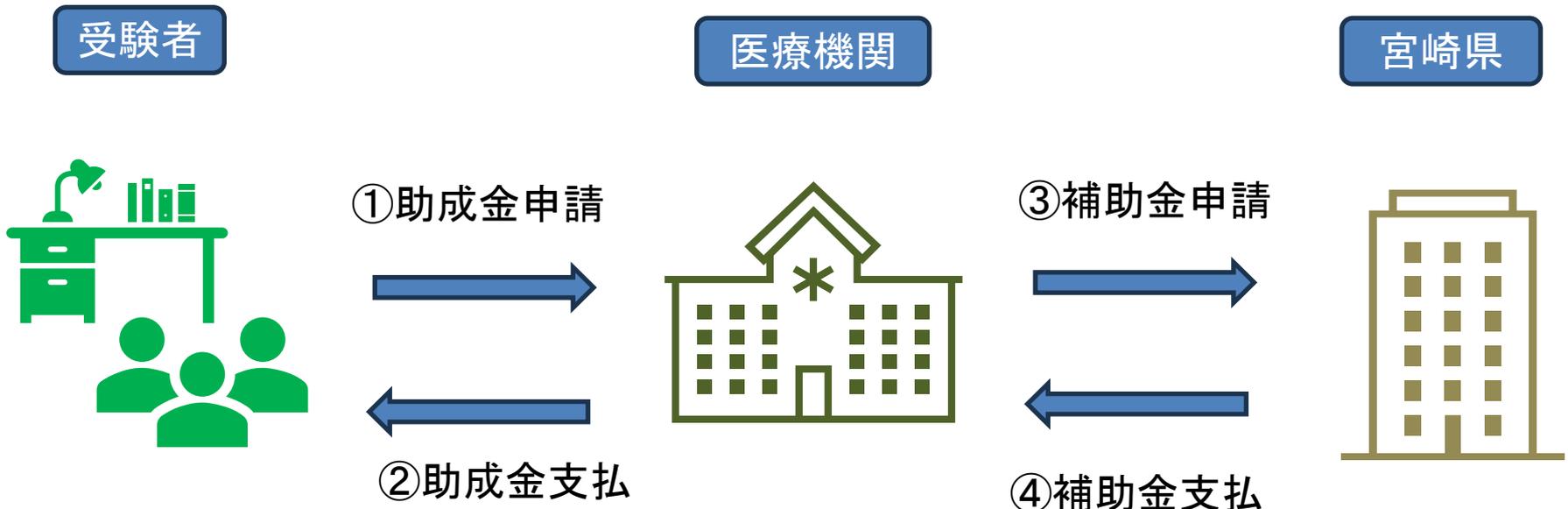
循環器病人材育成事業

令和6年度より

県内の心血管疾患に関する医療提供体制の充実のため、**心不全療養指導士**または**心臓リハビリテーション指導士**の養成のための**経費を負担する医療機関への補助**を通じ、心血管疾患に携わる医療従事者への人材育成の支援を行う。

循環器病人材育成事業

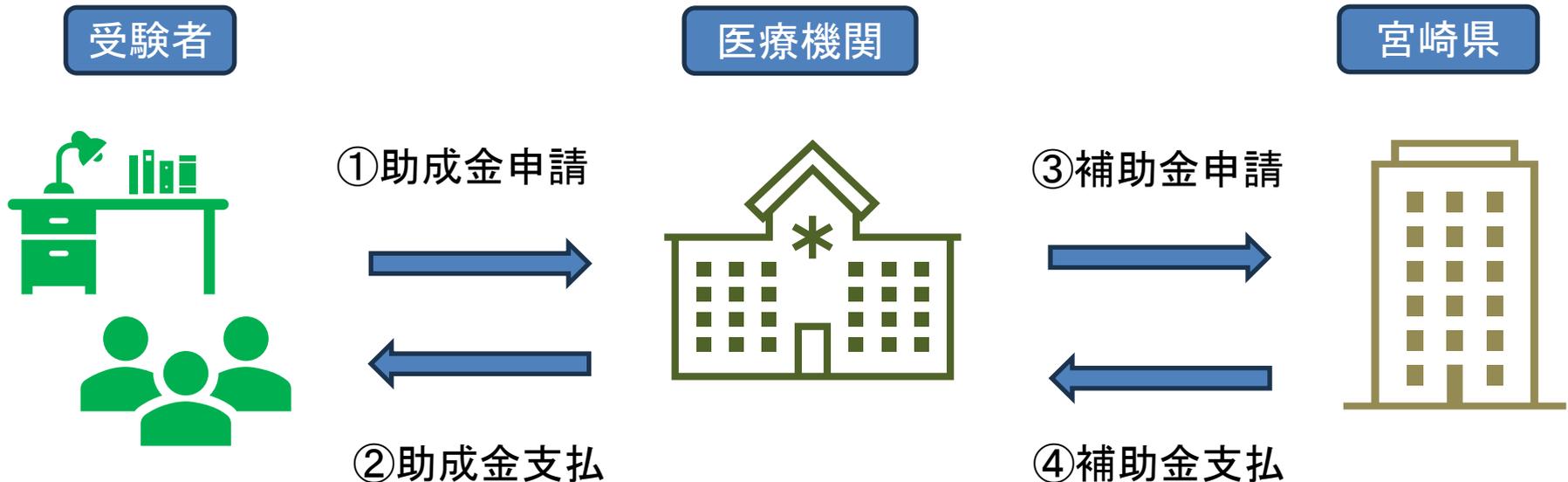
心不全療養指導士における事業スキーム



補助対象経費：資格の取得に際し助成した受講料、審査料及び資料代
補助率：2分の1以内(ただし一人当たりの上限額は12,500円)

循環器病人材育成事業

心臓リハビリテーション指導士における事業スキーム



補助対象経費：①資格の取得に際し助成した受講料、審査料及び資料代

②資格の取得に際し助成した旅費

補助率：2分の1以内(ただし一人当たりの上限額は、以下のとおりとする。)

① 12,500円

② 37,500円

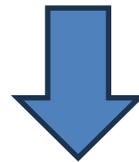
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
- ・循環器病人材育成事業
- ・啓発・予防の取組

啓発・予防の取組

令和5年度宮崎県循環器病対策推進協議会にて

—委員より—

「予防」が大事。委員が意見を持ち寄り、宮崎で取り組める予防について議論するのはどうか。



令和6年度における

循環器病予防の取組の検討

啓発・予防の取組

<循環器病の特徴と対策>



一次予防

二次予防

三次予防

生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等を予防すること

疾病を早期に発見し、早期に治療すること

疾病が発症した後、必要な治療を受け、機能の維持・回復を図るとともに再発・合併症を予防すること

啓発・予防の取組

一次予防

- 生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、飲酒、
歯・口腔の健康など)の改善



本県の取組

- ・生活習慣改善のための普及啓発
- ・食生活や運動習慣改善、受動喫煙防止の環境づくり

啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

普及啓発の状況

- 各種SNSやマスメディアを活用した情報発信
- イベントにおける啓発
パネル展示、動画、デモンストレーション、
啓発資材配布等
- 民間企業等と連携したセミナーの実施
- 尿中Na・K比を活用した健康教育の実証事業
- 子どもに対する各学校における取組
保健体育科等における規則正しい生活習慣の授業、
生活習慣チェックリストや各種たより等(家庭との連携)
栄養教諭による食(栄養)に関する授業、弁当の日の実施等



啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

環境づくりの状況

- 食生活環境
 - ベジ活応援店登録制度、応援店の利用キャンペーン
 - コンビニと連携したバランスのとれた食習慣推進
 - 適切な塩分摂取量（適塩）の情報発信を行う企業の登録
- 運動環境
 - 県内イベントに体験型ブースの出展
- 受動喫煙防止
 - 各保健所における相談・指導
- 人材育成
 - 特定健診・保健指導従事者
 - 食生活・運動のボランティア



啓発・予防の取組

【令和6年度以降の新たな取組】

- 食生活環境
こっそり適塩プロジェクト
- 運動環境
「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」の普及
運動の要素を取り入れたイベント実施の増加
- 受動喫煙防止
5月31日にイエローグリーンの県庁ライトアップ
- 飲酒
「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」の普及
- 歯・口腔
企業等における歯科健診・指導の体験実施

啓発・予防の取組

二次予防

早期発見・早期治療のため、

● 特定健康診査の実施

● 特定保健指導の実施



本県の取組

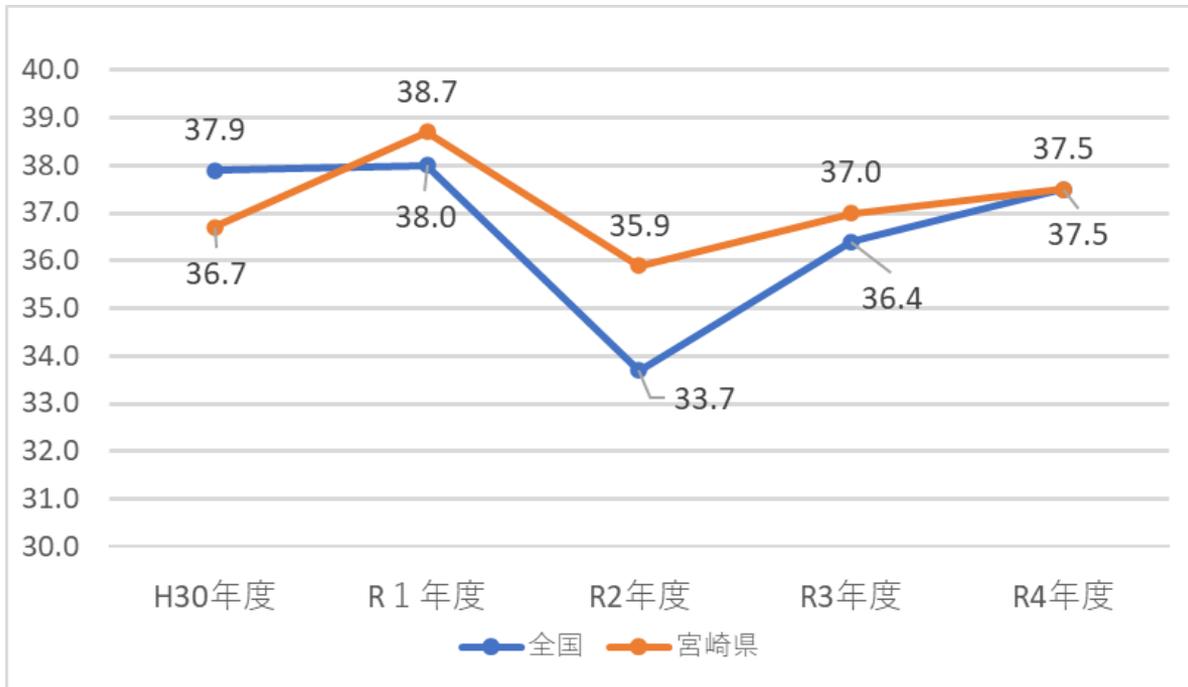
- 特定健診実施率向上対策事業（国保）
- 国保広報事業
- 保険者協議会における普及啓発事業等

啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

特定健診の状況

<特定健診実施率(市町村国保)>



特定健診広報月間 (5月、10月)

特定健診の結果は
あなたの
「からだの通信簿」



啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

特定健診実施率向上対策事業(国保)

- 15市町を対象に実施。
- 特定健診未受診者の健康意識や状況にあわせたパターン別に受診勧奨。

＜市町村国保(26市町村)特定健診実施率(速報値)＞

令和5年5月時点	令和6年5月時点
36.9%	38.6%

1.7ポイント増↑

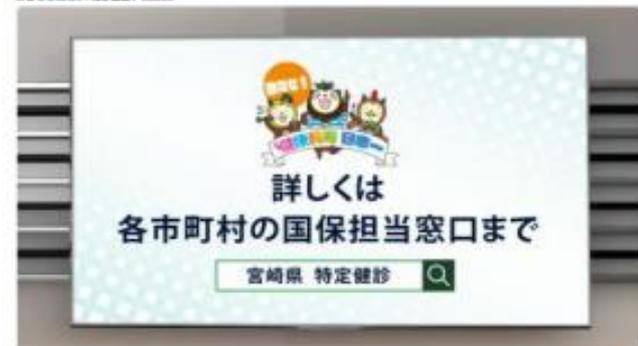
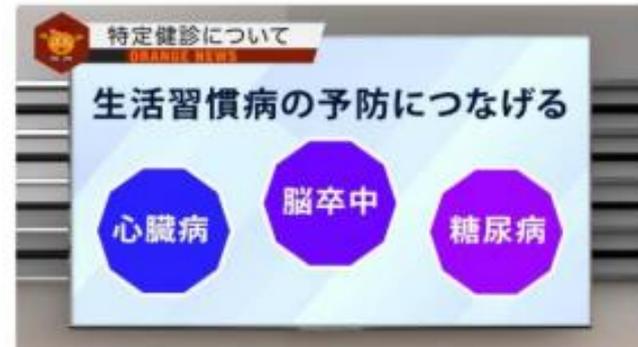
啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

国保広報事業

- テレビCM、YouTube広告、SNS広告
(LINE、Instagram、Facebook)

放送月	内容
5月・10月	特定健診の受診促進
8月	歯科健診
9月	がん検診
11月	適正服薬
12月	食事に関すること
1月	感染症予防
2月	運動に関すること



啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

保険者協議会の取組～特定健診・保健指導関連～

- 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発事業
- 特定保健指導プログラム研修等事業



啓発・予防の取組

【令和6年度取組予定】

特定健診実施率向上対策事業(国保)

- 16市町を対象に実施

国保広報事業

- 新規素材作成(食事に関すること、国保制度関連)
- TVerを活用した広報



保険者協議会における普及啓発事業等

- 新規素材の作成
- TVerを活用した広告
- 啓発グッズ作成(ポスター、ウェットティッシュ)



啓発・予防の取組

三次予防

● 疾病が発症した後、必要な治療を受け、機能の維持・回復を図るとともに再発・合併症を予防する

本県の取組 (一部抜粋)



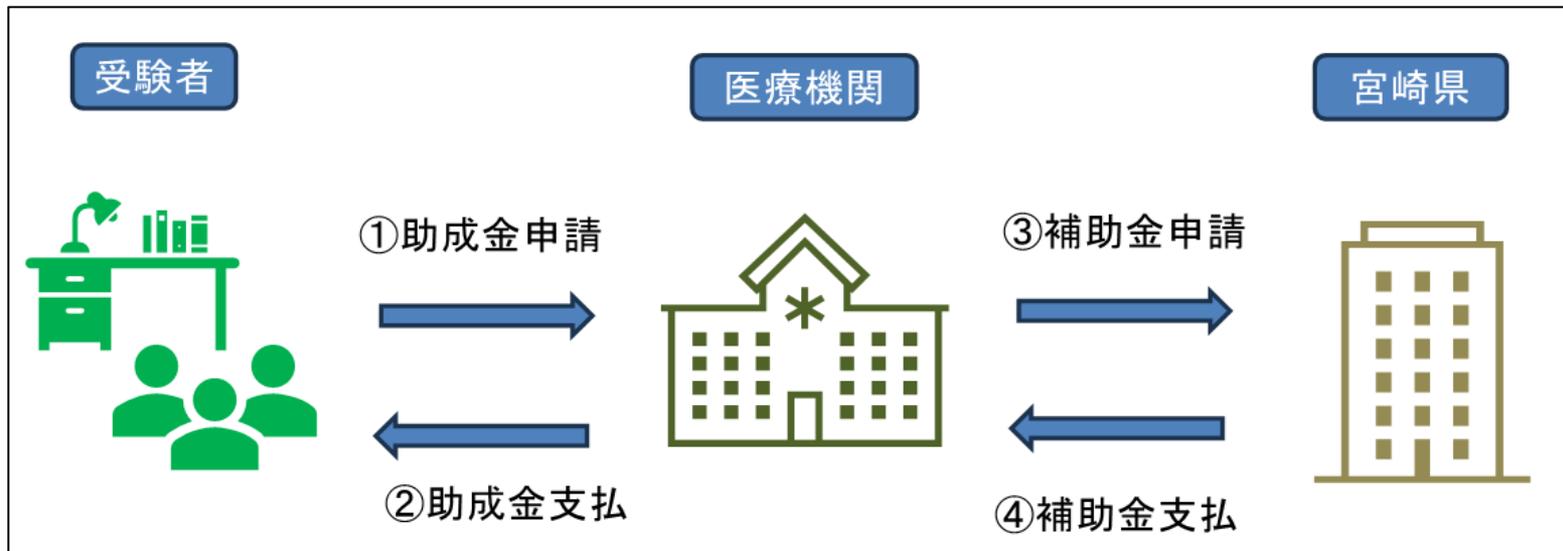
・ 都城市郡医師会病院が実施する高度急性期病床の整備をはじめとする「心臓・脳血管センター」整備の支援事業

・ 救急医療機関の機能分化・連携を促進するため、脳卒中や急性心筋梗塞の救急医療拠点となっている医療機関の機能強化を図るために必要な設備整備支援事業

啓発・予防の取組

【令和6年度以降の新たな取組】

- 循環器病人材育成事業
(心不全療養指導士、心臓リハビリテーション指導士)



啓発・予防の取組

病気に関する啓発

●循環器病の正しい知識の普及啓発



本県の取組

- ・循環器病に係るイベント等を通じた普及啓発
- ・循環器病に関する県民公開講座

啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

10月29日世界脳卒中デー

(世界脳卒中機構)

- 県ホームページにて周知
- 県庁ライトアップ
- 県政けいじばん掲載
(宮崎日日新聞、朝日新聞、
毎日新聞、読売新聞、夕刊デイリー)
- 県政テレビ番組
おしえて！みやざき(MRT)
- 県政ラジオ番組
Todayみやざき(FM宮崎)
- 宮崎県広報
X、Twitter、Instagram



啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

8月10日ハートの日

(日本心臓財団が提唱。「健康ハートの日」プロジェクトは、日本心臓財団、日本循環器学会、日本循環器協会、日本AED財団の四団体で共催)

- 県ホームページにて周知
- 県政けいじばん
(宮崎日日新聞、朝日新聞、
毎日新聞、読売新聞、夕刊デイリー)
- 宮崎県広報
X、Twitter
- 健康増進課広報
Instagram

3月9日脈の日

(日本脳卒中協会)

- 県ホームページにて周知
- 県庁ライトアップ



啓発・予防の取組

【令和5年度取組実績】

循環器病県民公開講座

- 県政けいじばん、県ホームページにて開催周知、各市町村にも周知依頼
- 参加者数 52名



宮崎県循環器病
県民公開講座

「めざせ！健康長寿日本一！
～循環器病から自分を守るために
今日からできること～」

講演内容

「あなたの大切なハートを守る！
-宮崎県の心血管疾患の
現状と対策-」
宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野
教授 海北 幸一

10月1日(日)

14:00～16:10
宮崎県防災庁舎
5階53号室

「心臓リハビリテーションを知ろう！
運動の役割と実践！」
都城市医師会病院
理学療法士 花田 智

先着100名
参加料無料だよ～
Let's go!

参加には
事前申込
が必要です！

QRコード

主催 宮崎県

「めざせ！健康長寿日本一！」

宮崎県健康増進課 がん・疾病対策担当
TEL: 0985 (26) 7079 FAX: 0985 (26) 7336
E-mail: kenkozoshin@pref.miyazaki.lg.jp

啓発・予防の取組

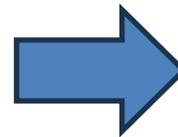
【令和6年度以降の新たな取組】

第2回宮崎県循環器病

県民公開講座



- 脳卒中のはなし
- 心血管疾患のはなし
- 運動のはなし
- 食事のはなし



企業と連携し開催
○周知の充実
→参加者数の増加